

ごあいさつ

平素は格別のお引き立てにあずかり、厚く御礼申し上げます。

今年も当金庫に対する理解を深めていただくために、ディスクロージャー誌「摂津水都信用金庫の現況」を作成し、公表させていただき運びとなりました。日頃のご愛顧に改めて感謝申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

さて、私ども摂津水都信用金庫は、平成20年3月10日を以って合併5周年を迎えることができました。平成15年3月の合併以来、職員の融和を図りながら、事業融資と個人ローンの並進を重点施策として取り組んでまいりました。その結果、業績は貸出の不振などから当初計画こそ下回りましたが、ほぼ順調に推移し、北摂地域では地元金融機関としての確固たる地位を築けたものと確信しております。

特に19年度は、合併以来落ち込みを続けておりました貸出が大幅な増加(125億円)に転じたほか、健全性の有力なバロメーターといわれます自己資本比率も待望の二桁台(10.04%)に乗せることができました。これもひとえに、お客さまのご愛顧の賜物と役職員一同深く感謝しております。なお、有価証券への投資は安全性を重視した手堅い運用を行っており、サブプライムローン関連商品は保有しておりません。

またこの間、経営陣の新体制への移行もあり、長期経営計画の策定を行うとともに、ブロック別交流会を実施いたしました。長期経営計画(チャレンジ・ドリーム10)では、職員に5年後、10年後を展望した長期的な目標(夢)を明示いたしました。6つのブロックで実施いたしました交流会では、約800名のお客さまと直接対話し、貴重なご意見を頂き、経営に活かすことができました。今後も地域のお客さまとの対話を最重要施策のひとつに位置付け、いろいろな機会を持ちたいと考えております。

真の地域金融機関として地域から信頼され、地域になくてはならない金融機関となるため、お客さまのニーズに応える商品の提供はもとより、コンプライアンス態勢の強化並びに強固な経営基盤の構築に向け、役職員が一丸となって邁進する所存でございます。

この冊子を是非ともご覧賜り、当金庫への理解を深めていただくとともに、今後とも、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年7月

会長 **寺西重博**
理事長 **土手基史**



会長 寺西 重博



理事長 土手 基史